

うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

令和6年10月31日
北区立うめのき幼稚園

11月

それぞれの全力

園長 篠澤 恵理

10月19日に実施した親子運動会では、「忍者」をテーマにしてリズム表現などを行いました。子どもたちは、運動会が終わった今も忍者の衣装を身に付けて遊んだり、運動会の競技をしたりして余韻を楽しんでいます。地面に置いた入れ物に投げ入れる玉投げ遊びでは、繰り返す度に投げ方やコントロールが良くなってきていることに驚かされます。今では、玉入れ台に入れようと、自分の体を弾ませながら力を加減している様子もありました。前に投げることを体験したことで、玉を上投げることに生かされていることが分かりました。中には、玉入れ台のそばまで行き、そっと投げる姿もありました。思い切り投げない方が入ると思って、考えながら投げているのです。玉を集めることに夢中になっている子もいます。取り組み方や楽しみ方は様々ですが、子どもたちは、いつも全力で遊んでいると感じます。「全力」というと、力がこもっている様子を思い浮かべがちですが、「今できる精一杯の力」と捉えると、「それぞれの全力」が見えてきます。「こうしてほしい。」「こうなってほしい。」という願いが強いと、「できているかどうか。」という見方になりがちです。今の精一杯の姿を愛おしく思いながら、それぞれの楽しみ方や、成長の姿を見つけていけるように願っています。

運動会の保護者リレーでは、忍者の巻物をバトンに持ちながら、忍者風に構えて走っていただき子どもたちも大喜びでした。保護者の皆様も、それぞれの全力で子どもたちとの毎日を楽しみながら過ごしていただいていることが伝わり、嬉しい場面でした。保護者の皆様のご協力とご来賓の皆様の温かな応援に、心から感謝申し上げます。

11月は、うめのき劇場があります。子どもたちが歌や合奏を披露する機会です。楽しさを一番に無理なく取り組めるように準備しています。保護者の皆様も、子どもたちの気持ちを感じながら、今できる精一杯の「それぞれの全力」で、一緒に楽しんでいただければと思っています。



えがおにこにこコーナー



【親子運動会】年少親子綱引き



【親子ネイチャーゲーム】



【板橋こども動物園遠足】



運動会の綱引きは、親も子も、カー一杯に頑張っていました。子どもたちは、手足の使い方も分かってきたようで、踏ん張る力もつきました。

親子ネイチャーでは、講師にナチュラリストの佐々木洋さんをお招きして、幼稚園の豊かな自然を再発見しました。小さな気付きも大切に受け止めていただくと、もっと見付けたい気持ちが膨らんだようです。

こども動物園の遠足では、山羊や羊に触れながら気付いたことを伝え合う姿もありました。11月も、子どもたちとの毎日を楽しんでまいりましょう。